

令和3年産以降も、 需要に応じた米の生産を進めましょう

1 熊本県の主食用米の状況について

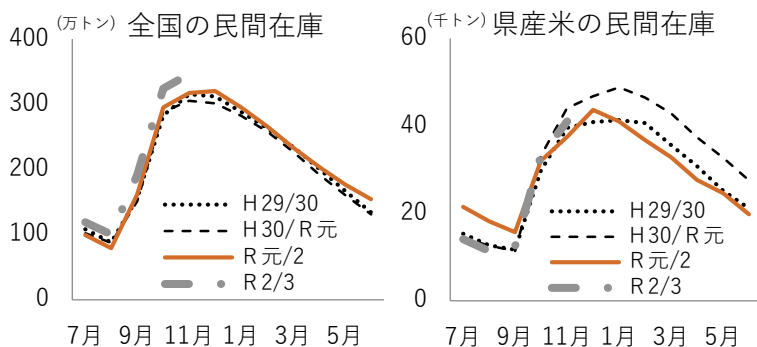
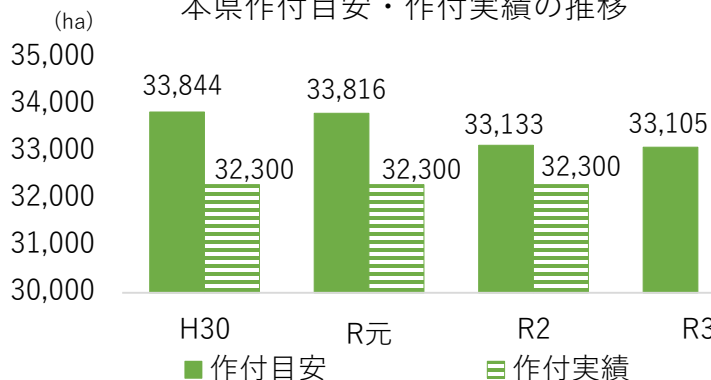
○熊本県では、
作付目安よりも作付実績が少ない
状況が続いています。

○R3産の作付目安は、
R2産の作付実績より**805ha多い**
33,105haです。

○一部の主産県における作付増加の
影響で、
全国的には在庫量が増加しています。

○一方、作柄不良の影響で、
本県産の在庫量は前年並みです。

本県作付目安・作付実績の推移



○熊本県における主な品種の需要傾向

主な用途	品種	需要傾向	特徴
主食用	コシヒカリ	→	新米として早く出回る地域と特A評価獲得し知名度がある地域があり、今後も一定量が必要。
主食用	ヒノヒカリ	↗	知名度の高さから安定的な販売が可能一方で、近年、品質の低下がみられ、品質の向上が求められている。
主食用	森のくまさん	↗	
主食用	くまさんの輝き	↗	今後作付面積増加を図る良食味品種
業務用	やまだわら	→↗	業務用としての需要が高い。

2 令和3年産に向けて

○本県産米については、**需要が堅調であることから、前年実績より多い作付目安とし、作付目安に基づいた生産を推進**します。

○農業者におかれましては、引き続き、基本技術の徹底による単収向上や低コスト生産に取り組むとともに、ナラシ対策や収入保険等セーフティネットに加入し、経営安定を図りましょう。

ゆうこさんと組合長のある日の雑談～聞いてはいよ！米のはなし

ゆうこさん



昨年はお米が不作で、計画していた量の半分しか出荷できなかったわ。全国では99の作況だったのに、新聞では米が余ると言ってるのはどういうこと？

国は毎年10万トンは食べる量が減ると言いよらすとに、県によっては生産量が増えとるところもあっとたい。食べる量より生産する量が多かけん、売れんで在庫量が増えとるったい。だけん余ると言いよらすと。

組合長



じゃあ、米が余っているのに、熊本の作付目安は前年並みの面積※だったけど、作って大丈夫なの？

※R2年産33,133ha、R3年産33,105ha（表面参照）

大丈夫。熊本は作ってよか面積より実際の作付面積が少なくなるとし、米卸さんたちも熊本の米がもっと欲しかて言いよらす。要は売れ残りが出とつか、売り先のあてのなか米ば作らんとよかつたい。



そうなのね、よかった。それなら昨年と同じだけ作ろうかな。ところで、他の県では米の価格が下がってるみたいだけど、熊本は大丈夫かな？

それは今からの消費とか全国の生産の動向次第たいね。だけん、今から低コスト技術に取り組んだり、需要があって国の交付金ができる飼料用米等に一部を転換したりするものも一つの手かもしれんね。



昨年から収入保険に加入したの。米の値段が下がった時のことを考えると心配で。

もしものことをば考えて収入保険にかたるとも大事なことたいね。あとは何より、うまか～って言われる米ば作って、しっかりPRして、県産米のファンば大事にしていくことたいね。



そうよね。しっかりおいしい米を作らなきゃね。今年は新品種「くまさんの輝き」を作ることにしてるの。とっても楽しみ。

そらあよか。今まで以上にうまか米ば作らなんねえ。欲は言わん、今年は平年作であってほしかねえ。



需要に応じた米の生産についてのお問合せ先

熊本県農業再生協議会事務局

J A 熊本中央会 農政・営農支援センター (TEL 096-328-1024)

J A 熊本経済連 農産部 (TEL 096-328-1165)

熊本県 農産園芸課 (TEL 096-333-2388)

★地域の詳細については、各地域農業再生協議会へお問合せください。